

教科	科目	単位数	学年	集団
国語	古典探究	3	3	総合探究科文系

使用教科書	副教材等
標準古典探究（第一学習社）	トータルサポート新国語便覧（大修館書店） 解析古典文法三訂版（桐原書店） 新明説漢文（尚文出版） よむナビ古文3・よむナビ漢文3（いっぴな書店）

科目の目標
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な量の語句を身に付けている。古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解している。
②思考・判断・表現	文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉え表現することができる。成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら作品を読み、内容の解釈を深める力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させようとしている。
評価方法	
①定期テスト、小テスト ②定期テスト、ワークシート ③授業、テストへの取り組み状況、提出物	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	作品の成立した背景を踏まえながら読み、その内容の解釈を深める	【古文】 ・宇治拾遺物語 「わらしべ長者」	①古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにできる ②作品について内容や解釈を自分の知見と結び付け考えを広げたり深めたりすることができる ③言葉がもつ価値への認識を深めようとしている	○	○	○
5	書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する	【漢文】 ・孟子 「仁人之心」「民父母」 ・老子 「柔弱」「百谷王」	①先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることができる ②詩が詠まれた目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、構成や展開、表現の特色について評価することができる ③我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている	○	○	○
6	物語の場면을踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える	【古文】 ・大鏡 「三舟の才」	①古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている ②物語の場면을踏まえて、人間、社会などに対する自分の考えを広げたり深めたりできる ③我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている	○	○	○

7	作品の内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする	【漢文】 ・淮南子 「宋人有嫁子者」	①古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる ②作品の内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる ③生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させようとしている	○	○	○
9	物語の場면을踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える	【古文】 ・無名草子 「清少納言」「紫式部」	①古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている ②文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広めることができる ③我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている	○	○	○
10	作品の成立した背景を踏まえながら読み、その内容の解釈を深める	【漢文】 ・史記 「四面楚歌」	①我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めている。 ②作品の成立した背景を踏まえながら、内容の解釈を深め、作品の価値を考察できる ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている	○	○	○
11	物語の場면을踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える	【古文】 更級日記 「門出」「源氏の五十余巻」	①古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている ②物語の場면을踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる ③生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させようとしている	○	○	○
12	作品の成立した背景を踏まえながら読み、その内容の解釈を深める	【古文】 ・平家物語 「忠度の都落ち」 「能登殿の最期」	①作品に表れている言葉の響きやリズムなどの表現の特色について親しみ、先人の考え方に理解を深めることができる ②書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている	○	○	○
1	作品の内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする	【漢文】 ・説苑 「不顧後患」	①古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまりについて理解することができる ②作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の考えを広げることができる ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている	○	○	○
2						
3						